

## 欧州における盗難車両追跡 (SVT)の展望



欧州の盗難車両追跡システムサプライヤーは、不況による当面の業績悪化を乗り越え、不況後に訪れるビジネスチャンスを獲得できるのか？

SVT(盗難車両追跡)システムはこの不況で苦境に追い込まれています。主にスポーツカーや高級車などの高額車両を装着対象としているため、自動車販売の大幅な減少が同システムへの需要へも大きく影響しているためです。

SBD が発行したレポート「欧州における盗難車両追跡(SVT)の展望」では、SVT システムの将来像を詳細に分析し、今後の各種テレマティクスサービスの導入によって変化する欧州市場において、アフターマーケット及び OE システムへの脅威、そしてチャンスとは何かを解明します。

さらに本書では、欧州全域の技術要件に関する最新情報及び今後の動向分析、Thatcham の影響力拡大についての情報も提供しています。



このレポートは、欧州 SVT の未来に影響を及ぼす市場の変化について、お客様のご理解をサポートします。

- 不況がシステム装着率に及ぼす短期的影響とは？
- OE システムはアフターマーケット及びメーカーのオプションシステム装着にどのような影響を及ぼすか？
- 利用連動型保険と eCall が SVT システムに及ぼす影響とは？
- 現在開発中の新技術基準とは？ Thatcham のカテゴリ G5 が他国の保険要件にどのような影響を与えるのか？

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：太田 千絵

Eメール：cohta@sbdjapan.co.jp

Tel：052-253-6202



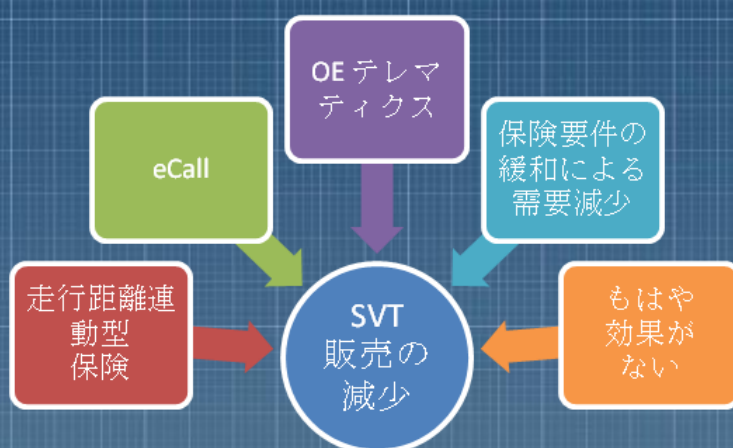
## 》》 A strategic view of SVT...

世界的な不況による新車販売の減少傾向の中で、SVTシステムの主な装着対象である高級車の販売への影響が特に深刻化しています。

SVTシステムの年間売上高が2008年レベルに回復するのは2012年以降になると予測されていますが、その頃にはOEシステムがSVT販売増進の鍵を握るようになるとSBDでは考えています。

**SBDでは、2009年から2010年にかけての欧州のSVT市場は、20万ユニット以下と2008年実績の30%以上減少すると予測しています。**

スタンドアロンSVTの装備にとっての脅威



西欧州で最初に販売されたSVTは、アフターマーケット製品でした。それから10年以上が経過した現在も、アフターマーケット製品としてのSVTの占める割合は売上全体の90%近くにも及びます。それでも多くの自動車メーカーで、欧州全域向けディーラーオプションアクセサリまたは生産ライン取付のSVTシステムをサプライヤーと共同開発する動きが活発化しています。

**短期的には、自動車メーカーはスタンドアロンOEのSVTシステムを販売すると考えられます。中長期的には、欧州eCallの展開に伴い、多様なサービス提供が可能なOEMテレマティクスプラットフォームへの統合型SVTの導入に着手し始めることが予測されます。**

本書では、こうした市場変化の概要と最新の市場予測、そしてアフターマーケット及びOEのSVTサプライヤーの今後の見通しについての戦略的分析をお届けします。

# »» ...know what tomorrow brings

1. 要旨
  - 1.1 SVTの展望
  - 1.2 SVTの将来的な需要に対する脅威
  - 1.3 SVTの保険要件とそのメリット
  - 1.4 アフターマーケットSVTサプライヤーにとっての機会
  - 1.5 OEのSVTサプライヤーにとっての機会
2. 市場の概観
  - 2.1 車両盗難
  - 2.2 市場予測
  - 2.3 SVT技術の動向
  - 2.4 アフターマーケット・システムとOEシステム
  - 2.5 市場のキープレイヤー
    - 2.5.1 アフターマーケットサプライヤー
    - 2.5.2 OEサプライヤー
3. SVTの技術要件
  - 3.1 技術概要
  - 3.2 要件の最近の変更
  - 3.3 要件の今後の変更
  - 3.4 Thatchamの影響
4. 保険上のメリット
  - 4.1 概観
  - 4.2 保険会社のSVT方針の概略
  - 4.3 今後の動向
5. 戦略的検討事項
  - 5.1 スタンドアロン SVT 装備への脅威
    - 5.1.1 走行距離連動型保険 (UBI)
    - 5.1.2 eCall
    - 5.1.3 OEテレマティクス
    - 5.1.4 保険要件の緩和による需要減少
    - 5.1.5 窃盗犯の対抗手段
  - 5.2 ThatchamのCat G5
  - 5.3 アフターマーケットシステム
  - 5.4 OEシステム

## Organisations responsible for European SVT criteria



### 図表一覧

- Fig. 1 EU加盟15カ国のSVT販売予測 (~2012年)
- Fig. 2 スタンドアロンSVTの装備にとっての脅威
- Fig. 3 欧州のSVT基準を管轄する組織
- Fig. 4 欧州の車両盗難の最近の動向 (主要8カ国)
- Fig. 5 EU加盟15カ国の販売予測
- Fig. 6 SVTシステム技術別欧州市場シェア
- Fig. 7 アフターマーケット・システムとOEシステムの市場における割合
- Fig. 8 欧州におけるSVTのキープレイヤー
- Fig. 9 Cobraが欧州全域でSVTサービスを提供する顧客
- Fig. 10 欧州保険要件の概要
- Fig. 11 SVT技術基準の概要
- Fig. 12 欧州におけるSVTの保険上メリットの概要
- Fig. 13 英国の保険会社への盗難請求にかかる費用の減少
- Fig. 14 スタンドアロンSVT装備への脅威
- Fig. 15 Cat G5の特徴比較
- Fig. 16 アフターマーケットSVTにとっての脅威とチャンス
- Fig. 17 OE SVTへの脅威とチャンス

# SBD の取り組み

SBD は、戦略的分析とデータを包括的に組み合わせ、お客様にご提供致します。当社の理念は専門知識を通じてお客様のビジネスの成長をお手伝いすることです。当社の目的は以下の通りです。

- お客様が開発すべき技術は何かを再確認していただくことによりビジネスの成長をサポートします
- お客様の計画と実施にかかる時間を短縮することによりコスト削減をサポートします

## ...本書の著者について



ポール・バーンリー：自動車防犯スペシャリスト

サリー大学電子工学科修士課程卒業。自動車業界で活躍した 12 年間はエンジン制御装置やスマートキーシステムの開発に携わり、車両通信及び追跡装置を専門とする。2005 年からは欧州保険要件及び盗難統計の首席研究員を務め、同分野の第一人者として広く認められている。

## 「欧州における盗難車両追跡 (SVT) の展望」

(参照番号 : SBD/SEC/2195)

マルチユーザ (製本+PDF) - 日本語翻訳付	¥250,000
- 英語版	¥215,000
シングルユーザ (製本のみ) - 日本語翻訳付	¥200,000
- 英語版	¥165,000

\* 上記は税抜き本体価格です。

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

\* Fax でのお問い合わせは、下記の項目をご記入のうえ、052-253-6204 まで送信下さい。

### SVT パッケージ購入のご案内

2009 年に発行される SVT レポートシリーズは、パッケージでもご利用頂けます。

■ SVT パッケージ	¥ 815,000 (税抜き価格)
当パッケージには下記の 3 つのレポートが含まれます。	
■ 欧州 (本書)	¥ 250,000 (税抜き価格)
■ ブラジル	¥ 405,000 (税抜き価格)
■ 英国	¥ 250,000 (税抜き価格)

## SBD ジャパン

Email: cohta@sbdjapan.co.jp

Tel: 052-253-6202 / Fax: 052-253-6204

(担当 : 太田 千絵)

## 関連レポート



### Ecallの今後の行方 (SBD/TEL/1820)

全欧州 ECall サービスに関する EC (欧州委員会) の計画において重要な問題が未解決である一方、欧州の大手自動車メーカー数社が開発中の次世代民間 ECall サービスへと注目が集まっています。本書では、EC の進める公共サービスと、自動車メーカーが開発する民間サービスの両方について、比較分析および将来予測を行っています。



### 利用連動型保険をOEテレマティクスにつなげる (SBD/TEL/1930)

利用連動型保険スキーム、PAYD (Pay-As-You-Drive) 導入への、世界的な取り組みについて簡潔明瞭に解説します。このレポートでは、利用連動型保険サービスに対する様々な技術的アプローチについてだけでなく、OE テレマティクスが PAYD 市場にいかにか恩恵をもたらすかについて考察します。



### ブラジルにおける車両盗難傾向および車両追跡要件 (SBD/SEC/2126)

本書は、現在ブラジルで計画されている新車への車両追跡装置の装着を義務付ける法案について詳細に解説しています。また、同国の市場概況、保険システム・要件および車両追跡装置の承認プロセスなどについても明らかにしています。